



国立大学法人

筑波技術大学

障害者高等教育研究支援センター  
「障害者高等教育拠点」事業 ご案内



# 障害者高等教育拠点とは

## — 背景と目的 —

高等教育機関で学ぶ障害のある学生数は増加の一途をたどっており、各機関においては障害のある学生への「合理的配慮」が求められています。筑波技術大学障害者高等教育研究支援センターは、聴覚・視覚障害学生に対するさまざまな情報保障技術や教育プログラムの開発を行ってきました。これらの成果が認められ、平成22年に文部科学省から教育関係共同利用拠点の一つ「障害者高等教育拠点」として認定を受けました。

本事業では、「イコールアクセス」の理念にもとづき、高等教育機関で学ぶ聴覚・視覚障害学生が障害特性に配慮された修学機会を得られるように、これまでに蓄積した教育・支援のノウハウを提供しています。これらの教育リソースが活用されることにより、障害学生の社会参加や自立の促進、高等教育のバリアフリーの実現を目指しています。

※[教育関係共同利用拠点]の認定について

参考Webサイト

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigakukan/1292089.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1292089.htm)





## ろう者学教育コンテンツの開発

**ろ**う・難聴者の様々な生き方や考え方、自立に必要な知識などを体系化する「ろう者学」が、聴覚障害学生のエンパワメント指導に効果を上げることが注目されています。この取組では、「コミュニティ」「歴史」「スポーツ」「芸術」「テクノロジー」「手話」「教育」の分野別にカリキュラムおよびコンテンツ（Webサイト）を開発し、全国の大学教職員が活用できるシステムを提供することを目的としています。



ろう者学教育コンテンツ開発プロジェクトHP : <http://www.deafstudies.jp/>



## 体育・スポーツ教育コンテンツの開発

**聴**覚・視覚障害学生の体育・スポーツ活動に対する教育的支援を行います。各大学等からの相談を受け、それぞれの大学に適した支援について、アドバイスを提供します。



### 聴覚障害系

聴覚障害学生への体育・スポーツの指導においては、教員や周りの学生たちがいかにして情報を伝えるかという工夫が大切です。例えば、聴覚障害学生への配慮としては、音声情報を視覚情報や振動に替えることで、聴こえる学生と同じ環境で授業に参加することができます。このように、聴覚障害学生の体育授業について各大学からの相談を受け、それぞれの状況に適した支援について、ともに立案していきます。また、聴覚障害者スポーツに関する講習会の開催や講師派遣も行います。このほか、この取組では聴覚障害者スポーツ普及のための映像資料として、デフリンピックや聴覚障害者の体育大会取材し、コンテンツを作成しています。



### 視覚障害系

アダプテッドスポーツコーディネーター（※）が、視覚障害学生の体育授業についてアドバイスを提供し、視覚障害者スポーツに関する講習会の開催や講師派遣に対応します。講習会では現職教員だけではなく、将来の教育の担い手である教育学部や体育学部の学生も対象となります。

このほか、実際のスポーツ活動の映像コンテンツの作成や、他大学における支援事例に関する調査を行い報告書を作成・公開しています。

#### ※アダプテッドスポーツとは？

本事業ではいわゆる障害者スポーツを指しています。しかし、その考え方は障害者スポーツの範囲にとどまりません。ルールや用具を参加者のニーズに合わせる（adapt）ことによって、障害者はもちろん、幼児から高齢者・体力の低い人であっても参加できるスポーツを意味しています。





## 英語教育・指導に関する支援

**英**語をはじめとする外国語は、多くの大学で必修科目でありながら、聴覚障害学生が最も受講に困難を感じる科目です。また、授業支援について高い専門性を有する指導者や指導法に関する知識・情報の不足が課題となっています。これらを支援するため、本事業では2つの取組を行っています。

### 英語教育コンテンツの開発

#### 直接指導法による英語の指導例

ネイティブ教員による模擬授業を実施し、聴覚障害学生に合った指導方法や授業での配慮について提起しています。



#### 留学準備 Web 講座

留学を希望している聴覚障害学生のための e-learning 教材です。自身も留学経験のあるろう者を講師に迎え、聴覚障害学生がアメリカに留学する際に必要な知識・知っておくと良い情報を手話でレクチャーしています。(全編字幕付き)

### アカデミック・アドバイス提供体制の整備

この取組では、語学に特化した「アカデミック・アドバイザー」を配置し、語学の授業における教育・指導の方法や障害特性に応じた学習方法について専門的なアドバイスを提供しています。また、聴覚障害学生の語学指導に関して、学生を対象としたニーズ調査、指導担当教員・支援担当者へのインタビューなどを実施しています。



#### TOEIC 試験対策 Web 講座

TOEIC の Reading Section 400 ~ 600 点台の問題と解説からなる e-learning 教材です。学習上で質問等があれば担当者にメールで質問することができるインタラクティブなシステムです。大学単位でご利用の際には、学生の進捗状況や習熟度を管理画面から確認していただくことも可能です。





## 聴覚障害学生に対する支援技術の提供

**聴** 覚障害学生の情報保障に関する支援技術・支援機器の導入や支援方法について、ご相談に対応します。

### 教育支援機器の評価と提供（聴覚障害系）

この取組では、聴覚障害学生の情報保障に関連して下記のシステムを開発しています。これらのシステムについて、機材の貸出やマニュアル提供・アドバイスを行っています。

#### ■パソコン要約筆記用ルビ付きリアルタイム字幕システム：

受講者の漢字の読み能力に応じて、学年別に自動でルビを付加して字幕を提示します。

#### ■テキスト出力対応遅延機能付きテレビ録字機：

テレビ番組の字幕を映像・音声と一致させて提示できるシステムです。また、放送中の文字データをUSBメモリに保存することも可能です。

#### ■Wi-Fiマルチキャストを用いたリアルタイム字幕付きミニ放送システム：

パソコンで入力した字幕を映像等に併せて、スマートフォンやシースルーのメガネ型ディスプレイ等に提示します。



### パソコンノートテイカーの養成

パソコンノートテイクは、パソコンの文字入力を利用してその場の音情報を文字として提示するものです。これは聴覚障害者への情報保障手段の1つで、パソコンの文字入力に慣れている人であれば、手書きのノートテイクよりも約3倍の情報を提示することが出来ます。大学等で行われる講義において、多くの情報を得たいという聴覚障害学生のニーズに応えられるパソコンノートテイカーを養成できるようにカリキュラムの作成・提供を行っています。また、講師派遣や講座運用に関するアドバイスも行っています。



## 教育支援機器の評価と提供（視覚障害系）

**視** 覚障害学生が在籍する、または入学予定の一般大学では、情報保障機器の選び方や使い方の情報が不足しがちです。この取組では、個々の学生に適した機器情報を提供するとともに機器の貸出およびこれらに関するアドバイスを行っています。

このほか、視覚障害学生の在籍する大学の教職員に対して、視覚障害学生の障害補償・情報保障および支援の課題についてワークショップを開催しています。



## FD/SD 研修会の開催

**本** 学を中心にして構築してきた障害学生支援ネットワークとの連携を図り、学習指導や授業支援のノウハウ・情報を全国の大学に提供することを目的としたFD/SD研修会を開催しています。



# 「障害者高等教育拠点」ご利用に関する



## ろう者学教育コンテンツの開発



「ろう者学」が聴覚障害学生のエンパワメント指導に効果を上げるとはどういうことでしょうか？



聴覚障害学生が社会に出て、考え抜く力、一歩踏み出す力、チームワークをこなす力を発揮するためには、まず耳の聞こえない自分ができることとできないことを周りに伝えられる基礎的な力が必要です。同じ障害を持つ社会人がこの基礎力をどのようにして身につけたのか、どのように活かしているのかを学ぶのがろう者学です。様々な分野で活躍しているろう者・難聴者がそれぞれの経験や専門知識を語る映像コンテンツは「耳が聞こえない自分のアイデンティティを持ち、周りの協力を得て一歩踏み出すにはどうすればよいか」を教えてください。

## 教育支援機器の評価と提供（視覚障害系）



視覚障害学生が入学することが決まりました。大学としてどのように環境を整備したらよいのでしょうか？



環境の整備には、お金や時間がかかるものや、学内外との交渉が必要なもの、物理的に困難なものがありますが、比較的簡単にできる支援もあります。[教育支援機器の評価と提供（視覚障害系）]では、予算や学生の様子に合った方法をアドバイスします。

## アカデミック・アドバイス提供体制の整備



聴覚障害学生への語学指導において、どのような配慮や代替手段がありますか？



代替措置（リスニング→リーディングなどへの振り替え）や、教員側でできる工夫（視覚的教材の活用等）などが挙げられます。[アカデミック・アドバイス提供体制の整備]では、これまでの相談の実績から、大学の規模や支援体制に合った指導・支援の方法をアドバイスします。

## 体育・スポーツ教育コンテンツの開発（視覚障害系）



視覚障害学生が体育の授業を受講する際に、どのような配慮が必要でしょうか？



視覚障害学生にとって一番の問題は、周りの状況がわからないことです。そのため、怪我や事故につながらないように、聴覚的・触覚的な情報を提供するなどの配慮が必要になります。[体育・スポーツ教育コンテンツの開発（視覚障害系）]では、指導や支援のポイントをアダプテッドスポーツコーディネーターがアドバイスします。

## パソコンノートテイカーの養成



パソコンノートテイカーとして学生を養成したいと思っています。学生たちは、パソコンノートテイクに関してはまったくの初心者なのですが、講座にはどのくらいの時間、回数、期間が必要になりますか？



講座の回数はさまざまな例があります。まったくの初心者の場合には1回の講座に2～3時間、回数は2～3回で行うといいでしょう。[パソコンノートテイカーの養成]では、実施回数等に応じたカリキュラムを提供します。



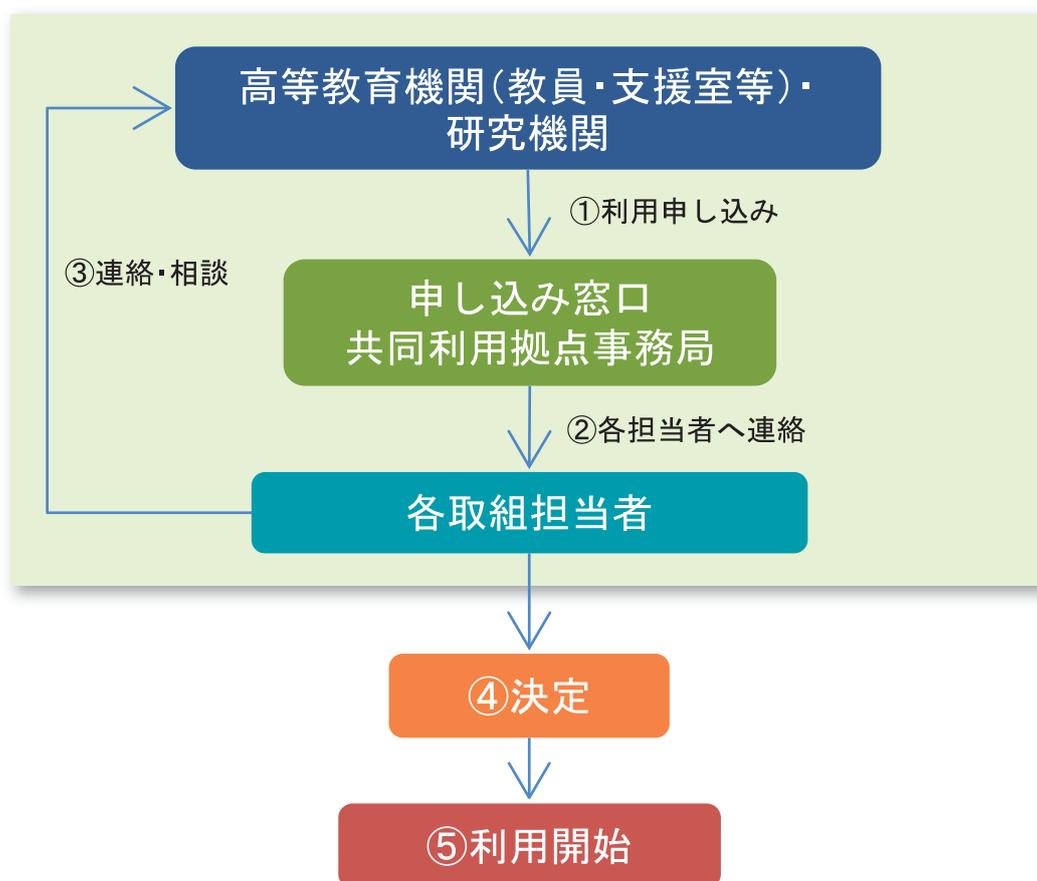
提供いただけるカリキュラムの具体的な内容を教えてください。



以下の項目を含むカリキュラムを提供します。

- 聴覚障害と情報保障
- パソコンノートテイクとは
- 使用機材や準備方法等
- 入力の基本ルール

## ご利用案内



1. 各種コンテンツのご利用、支援機器の貸し出し、アドバイスや講師派遣のご依頼については、下記連絡先までメールまたはFAXでお申し込みください。  
ご依頼に合わせて、担当者よりご連絡いたします。
2. 本事業のコンテンツ等は、国内の高等教育機関・研究機関等でご利用いただけます。

### <お問い合わせ先>

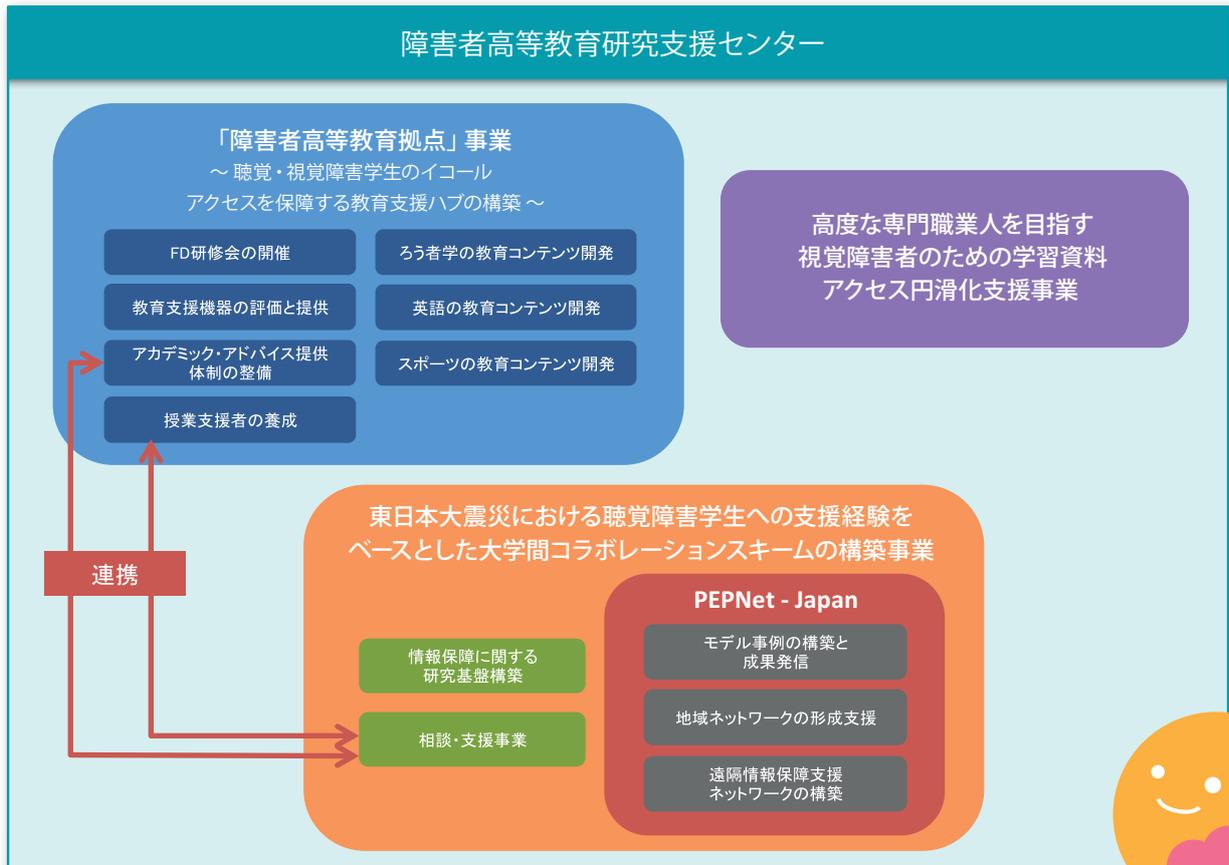
筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター  
「障害者高等教育拠点」事務局

TEL/FAX : 029-858-9483

E-mail : [krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp)

URL: <http://www.a.tsukuba-tech.ac.jp/ce/kyoten/html/>

# 障害者高等教育研究支援センター事業のご案内



## 高度な専門職業人を目指す視覚障害者のための学習資料アクセス円滑化支援事業

平成23年度より文部科学省の特別経費で、高等教育を受ける視覚障害者が専門的職業人を目指すうえで役立つ学習資料に円滑にアクセスできるようにするための、技術開発、人材育成、環境整備等を、学習資料の開発、製作、提供等の実務と一体化して行っています。

## 東日本大震災における聴覚障害学生への支援経験をベースとした大学間コラボレーションスキームの構築事業

H19～23年度にかけて実施してきた「聴覚障害学生支援のための拠点形成事業（T-TAC）」をベースに、東日本大震災で明らかになった現在の支援体制における脆弱性を補い、より強固な大学間連携体制の構築を進めています。本事業では、全国の連携大学・機関を中心とした地域ごとのネットワーク形成や、インターネットを活用した遠隔情報保障支援の枠組みづくり、聴覚障害学生支援に関わる新たなモデル事例の形成といった取り組みを進めていく予定です。



### アクセス

「つくばセンター」から天久保キャンパス・産業技術学部まで

関東鉄道  
バス利用

- 「筑波技術大学産業技術学部」停留所経由
- ・5番乗り場から、「テクノパーク大穂」行きバスに乗り、
  - 「筑波技術大学産業技術学部」停留所下車（所要時間約15分）
  - ・徒歩約2分（陸橋を渡ると目の前です。）

「合宿所」停留所経由

- ・6番乗り場から、「筑波大学循環 左回り」バスに乗り、
- 「合宿所」停留所下車（所要時間約15分）
- ・徒歩約5分

「つくばセンター」から春日キャンパス・保健科学部まで

関東鉄道  
バス利用

- ・6番乗り場から、「筑波大学循環 右回り」バスもしくは、「筑波大学中央」行きバス乗車、
- 「平砂（ひらすな）学生宿舎前」停留所下車（所要時間約7分）
- ※「追越（おいこし）学生宿舎前」ではありません。ご注意ください。その次のバス停になります。
- ・徒歩約3分

### お問い合わせ先

筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター  
「障害者高等教育拠点」事務局

TEL/FAX: 029-858-9483 E-mail: [krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:krk-net@ad.tsukuba-tech.ac.jp)

URL: <http://www.a.tsukuba-tech.ac.jp/ce/kyoten/html/>